

※同時記者発表 高松サンプォート記者クラブ／徳島県政記者クラブ／阿南市政記者クラブ

平成26年9月19日
四国地方整備局
徳島県～ 『第4回 那賀川学識者会議』 開催 ～
「那賀川水系河川整備計画」の再点検についてご意見を伺います

国土交通省四国地方整備局と徳島県では、平成26年1月31日に開催した「第3回那賀川学識者会議」において「那賀川水系河川整備計画」の内、地震・津波対策等の変更が必要とのご意見をいただき、計画変更に向けた検討を進めてきました。

一方、平成26年8月の台風11号洪水では、基準地点古庄観測所で現行整備計画の目標流量を上回った可能性が高く、流域において深刻な浸水被害が発生しました。

これらの状況を踏まえ、整備計画の再点検を行うとともに、今後の進め方について学識経験者のご意見を伺うため「第4回那賀川学識者会議」を下記のとおり開催します。

(詳細は別紙参照)

■開催日時 : 平成26年9月29日(月) 14:00～16:00(予定)

■開催場所 : 阿南市文化会館(夢ホール)

◆総合的なお問い合わせ

国土交通省 四国地方整備局

河川部 河川計画課 建設専門官 やすなが 安永 かずお 一夫

TEL (087) 851-8061 (内線3613)

◆整備計画の変更に関するお問い合わせ

◇国管理区間に関すること

国土交通省 四国地方整備局

那賀川河川事務所 副所長 ながお 長尾 じゅんじ 純二

TEL (0884) 22-6461 (内線204)

◇県管理区間に関すること

徳島県 県土整備部 河川振興課 課長補佐 とくなが 徳永 まさひこ 雅彦

TEL (088) 621-2570

第4回 那賀川学識者会議の開催について

国土交通省四国地方整備局と徳島県では、那賀川水系において概ね30年間で実施する具体的な河川整備の目標及びその内容を定めた「那賀川水系河川整備計画」（以下『整備計画』という。）を平成19年6月に策定し、これに基づき河川整備を進めてきました。

整備計画は、当面の具体的な河川整備に関する事項を定めたものであり、流域の社会情勢の変化や地域の意向、河川整備に関する新たな視点等を適切に反映できるよう、適宜その内容について点検を行い、必要に応じて変更するものとされています。

平成25年度には整備計画策定以降に発生した東日本大震災や平成21年8月の台風9号による浸水被害を受け、これら新たな視点を踏まえた点検を実施し、平成26年1月31日に開催した「第3回那賀川学識者会議」において点検結果の報告を行うとともに、地震・津波対策の追加、宮ヶ谷川の改修方式の変更が必要とのご意見をいただき、変更に向けた検討を進めてきたところです。

【参考：第3回 那賀川学識者会議ホームページ】

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakagawa/seibikeikaku/tenken/index.html>

一方、今年8月の台風11号洪水では、基準地点古庄観測所で現行整備計画の目標流量である戦後最大規模（昭和25年9月ジェーン台風）の9,000m³/sを上回る流量（約9,500m³/s（速報値））が発生した可能性が高く、広範囲にわたって流域に深刻な浸水被害が発生しました。

このため、台風11号の洪水規模や被害の状況を踏まえた整備計画の再点検を行い、今後の進め方について学識経験者（別紙1参照）からご意見を伺うため「第4回那賀川学識者会議」を下記のとおり開催します。

■開催日時：平成26年9月29日（月） 14:00～16:00（予定）

■開催場所：阿南市文化会館（夢ホール）研修棟2階 第1研修室
（別紙2参照）

■議 事：別紙3のとおり

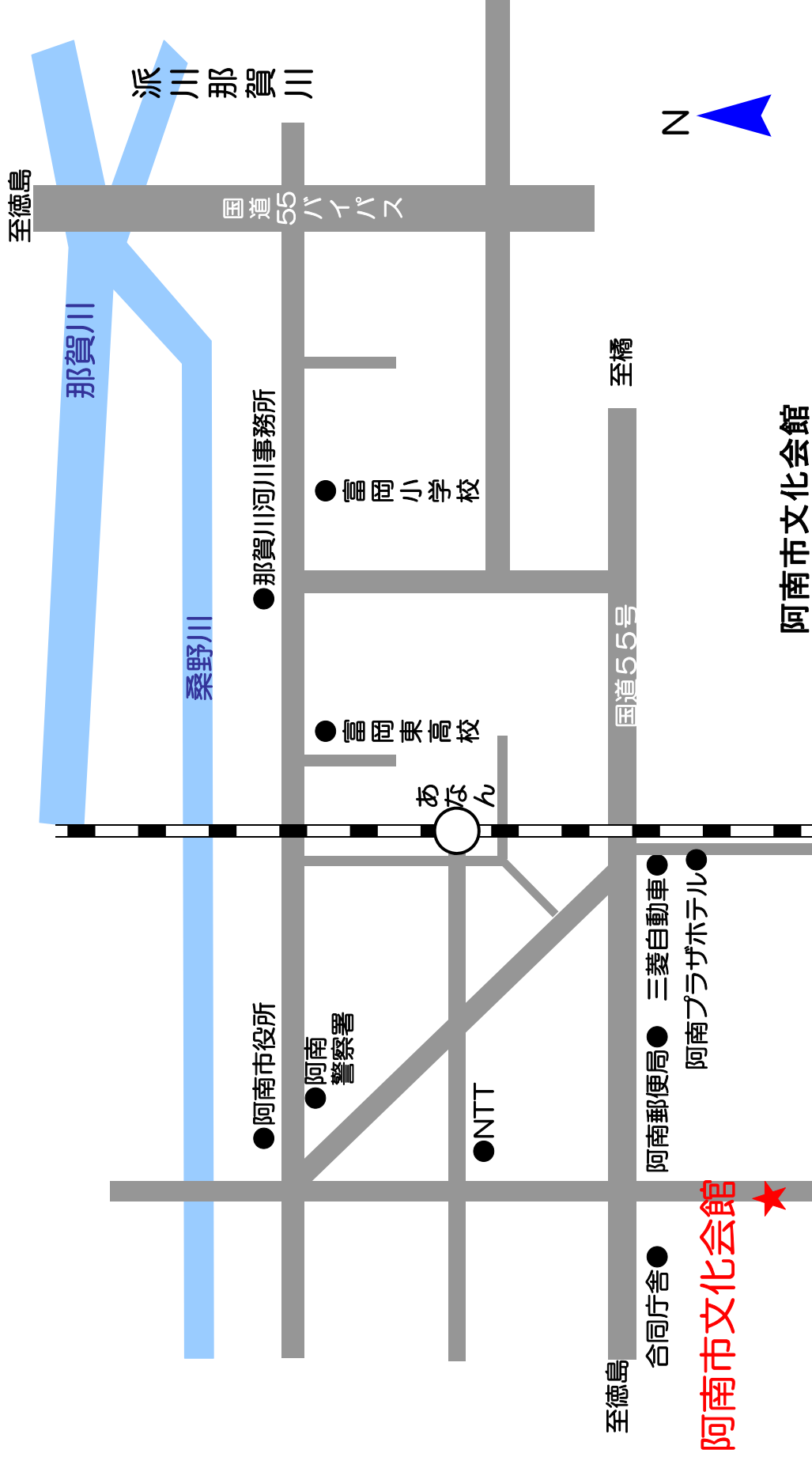
■公 開 等：会議は公開で開催し、一般傍聴の方の席を20席用意します。受付は13時30分～13時50分で先着順とし、満席になり次第受付を終了します。
ビデオ・カメラ等の撮影は冒頭の挨拶までです。
取材や傍聴に関する詳細は別紙4及び5をご覧ください。

氏 名	専門分野	所 属
いしかわ たか こ 石川 隆子	高齢福祉	富士医院 事務長
うずおか りょうすけ 渦岡 良介	地盤工学・地震工学	徳島大学大学院ソシオテクノサイエ ンス研究部 教授
おさだ けん ご 長田 健吾	水工水理学・河川工学	阿南工業高等専門学校 創造技術工学科建設コース 准教授
かくどう ひろふみ 角道 弘文	農業水利	香川大学工学部安全システム建設工 学科 教授
かわぐち よういち 河口 洋一	河川生態学・自然再生	徳島大学大学院ソシオテクノサイエ ンス研究部 准教授
たむら たか お 田村 隆雄	森林水文学	徳島大学大学院ソシオテクノサイエ ンス研究部 准教授
ないとう なお き 内藤 直樹	文化人類学	徳島大学大学院ソシオ・アーツ・ア ンド・サイエンス研究部 准教授
なかむら まさひろ 中村 昌宏	地域経済学	徳島文理大学総合政策学部 学部長
むとう やすのり 武藤 裕則	洪水防御（河川工学・ 水工学・水理学）	徳島大学大学院ソシオテクノサイエ ンス研究部 教授
むらかみ ひと し 村上 仁士	防災対策（地震・津波 ・水防災）	徳島大学 名誉教授
もりもと こう じ 森本 康滋	植物	徳島県自然保護協会 会長
やまなか りょういち 山中 亮一	環境水理学（水質）	徳島大学大学院ソシオテクノサイエ ンス研究部 講師
ゆうき とよかつ 湯城 豊勝	洪水防御（河川工学、 水理学）	阿南工業高等専門学校 創造技術工学科建設コース 教授

五十音順・敬称略

会場 案内図

別紙2



阿南市文化会館

〒774-0030

徳島県阿南市富岡町西池田135番地1

電話：0884-21-0808 FAX：0884-21-0909

第 4 回 那賀川学識者会議

開催日時：平成 26 年 9 月 29 日（月）

14：00～16：00

開催場所：徳島県阿南市富岡町西池田 135 番地 1

阿南市文化会館（夢ホール）

研修棟 2 階 第 1 研修室

議 事 次 第

1. 開会
2. 挨拶 四国地方整備局 河川部 河川調査官
徳島県 県土整備部 河川振興課長
3. 規約の改定
4. 議事
 - 1) 第 3 回那賀川学識者会議の概要について
 - 2) 平成 26 年 8 月台風 11 号洪水の概要について
 - 3) 現行の河川整備計画の課題について
 - 4) 河川整備計画の今後の進め方について
 - 5) 質疑
5. 閉会

「第4回 那賀川学識者会議」 取材についてのお願い

(取材)

- 1) 会議を取材しようとする者は、会議場に入室する前に受付において「報道関係者受付名簿」に必要事項を記入し、「報道」と記載されたプレートを着用して下さい。
- 2) 報道関係者は、会議場内において次の事項を遵守して下さい。
 - ① 報道関係者の方はあらかじめ用意された席で取材願います。
 - ② 円滑な運営を図るためビデオ・カメラ等の撮影は、冒頭の挨拶までとさせていただきます。
 - ③ ビデオ・カメラ等の撮影位置は事務局席までとし、それより前列には立ち入らないで下さい。
 - ④ 会議中、携帯電話は電源を切るか、マナーモードに切り替え、使用しないで下さい。

(公開・公表)

- 3) 審議中に発言された委員の個人名は報道しないよう配慮をお願いします。

「第4回 那賀川学識者会議」 傍聴要領

(主旨)

この要領は、第4回那賀川学識者会議（以下「会議」という。）の議事を円滑に進めるため、傍聴に関し必要な事項を定めたものです。

(傍聴)

- 1) 会議を傍聴しようとする者は、会議場に入室する前に受付において「傍聴者受付簿」に必要事項を記入し、「傍聴」と記載されたプレートを着用して下さい。
- 2) 傍聴者席については、20席を確保しています。受付は先着順とし、満席になり次第受付を終了します。その際はご了承下さい。
- 3) 会議の円滑な進行のため、傍聴者は会議場内において次の事項を遵守して下さい。
 - ①会議における言論への批判、可否の表明、拍手などをしないこと。
 - ②発言、私語、談論などをしないこと。
 - ③許可なく写真やビデオ撮影、録音などをしないこと。
 - ④会議中、携帯電話は電源を切るか、マナーモードに切り替え、使用しないこと。
 - ⑤前号に掲げるもののほか、会場の秩序を乱したり議事の妨害となるような行為を行わないこと。
- 4) 事務局は、傍聴者が前項に掲げる事項を遵守しない時は、傍聴者を退場させることがあります。
- 5) 事務局が退場を指示した時は、速やかに退場して下さい。
- 6) 以上のほか、傍聴者は事務局の指示に従って下さい。